学校番号	４０９

平成 31 年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基本的には毎回の授業ごとにプリントを完成させ提出する。
教科書とノートを用意すること。
授業では前向きに取り組み、発表すること。
班活動では自分の役割を果たし、積極的に話し合いに参加する。

2　学習の到達目標

世の中で起きていることに対して興味・関心を持つ。
現実の世界で起きている物事に対して、自分の問題として主体的に考え、正確に理解し、自ら考えた自分の意見を述べながら、相手の意見にも耳を傾けられるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけている。 ・国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえながら公正に判断している。	・現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、且つ集めた情報を主体的に選択し効果的に活用している。 ・学習を通して追究した過程や結果を、的確に表現することが出来る。	・現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート 発表	定期考査 ワークシート 発表	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	政治	第1章 現代国家と民主政治 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界のおもな政治制度 第2章 日本国憲法と基本的人権 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本原理 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 民主主義の歴史や基本的原理に関して、世界史学習と関連づけながら深い興味を抱いている。 b: 西洋で発達した民主主義の原理と、日本の政治機構の仕組みとの関連を考察している。 ・主要国の政治制度と日本の政治制度とを、比較しながら考察している。 c: 社会契約説や権力分立といった民主主義の原理について、ロックやルソーといった思想家たちの内容を確認している。 d:社会契約説や権力分立、主要国の政治制度などに関して正しい知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
1学期	政治	第3章 日本の政治制度と政治参加 1. 政治機構と国会 2. 内閣と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治・選挙・世論 第4章 現代の国際政治 1. 国際社会と国際法 2. 国際社会の変化 3. 国際連合と国際協力 4. 第二次世界大戦後の国際政治 5. 冷戦終結後の国際政治 6. 軍拡競争から軍縮へ	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:政党や、国民が参政する選挙について十分な関心を抱くとともに、主権者としての政治参加の在り方について客観的に考察しようとしている。 b: 憲法条規上の国会、内閣、裁判所や地方自治の規定と、現実の三権の状況や中央と地方との関連などを的確に比較し考察している。 c: 国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、学習のために主体的に選択している。 d: 国会、内閣、裁判所、地方自治について、憲法条規に照らし合わせて、その仕組みや権限、さらに相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。	ワークシート 定期考査

2学期	政治・経済	第5章　日本の平和主義と国際平和 1. 平和主義と自衛隊 2. 日米安全保障体制 3. 21 世紀の平和主義 4. 日本の外交と国際社会での役割 第1章　経済社会の変容 1. 資本主義経済の成立と発展 2. 現代の資本主義経済	 ○ ○ 	 ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	a: 現実の平和主義にかかわる問題に対して関心を示し、追究する態度を示している。・経済の本質や資本主義経済活動について関心が高まっている。 b: 平和主義の憲法と社会の望ましい在り方を判断している。現代経済の特質について、多面的に考察している。 c:資料や経済体制の現状を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し活用している。 d: 平和主義に関連する日本国憲法の基本的条規について、正しい理解を示し、資本主義経済の特質や世界経済の現状に対しても理解を示している。	ワークシート 定期考査
2学期	第2章現代経済のしくみ 第3章　現代の日本経済と	1. 経済主体と市場の働き 2. 企業の役割 3. 国民所得 4. 金融･日本銀行の役割 5. 財政の役割と租税 6. 日本の財政の課題 1. 復興から高度経済成長へ 2. 安定成長からバブル経済へ 3. 中小企業と農業 4. 消費者問題　･環境保全 5. 労働問題と労働者の権利 6. 社会保障の役割	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 市場機構や景気変動、金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深め、意欲的な態度が見られる。 b: 家計、企業、政府の経済主体間の経済循環を、現実の経済活動と対応させながら考察している。 c:ＧＤＰ、金融や財政などに関する統計資料を、各種白書などを利用して的確に収集している。 d: 適切な価格決定や資源配分といった市場のもつ特性とその限界についても考察を加えている。	ワークシート 定期考査
3学期	経済	第4章 現代の国際経済 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 国際経済の動向 5. 発展途上国の諸問題 6. 経済協力と日本の役割	 ○ ○ ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:ボーダレス化など、国際的な相互依存関係が深化する国際経済の特質を意欲的に追究している。 b: 経済のグローバル化の動きに対して多面的・多角的に考察している。 c:グローバル化の進展など国際経済の特質、安定と成長のために果たすべき日本の役割についての情報を活用している。 d: 自由貿易を前提とした戦後国際経済の流れを理解し地域経済統合や南北問題の新たな局面を理解している。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。